
突発恋愛短編「国語辞書」

妄音ルウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

突発恋愛短編「国語辞書」

【Nコード】

N6735T

【作者名】

妄音ルウ

【あらすじ】

テンションと勢いで書いた恋愛短編です。
内容については突っ込まないでください。

「あ、やべ辞書忘れた」

それは、たしか中学の頃だったと思う。

その日、俺は予告されていたにも関わらず国語辞書を忘れていた。

「誰かに借りなきゃ、つっても辞書なんて持つてゐるかなあ？」

今回の授業は辞書を使うからないわけにはいかない、でも他のクラスの友人が都合よく辞書を持つてるとは思えなかった。

「まあダメもとで……」

キンコンカンコン♪

始業の鐘、結局辞書を借りにはいけなかった訳だ。

「ほら、おまえら座れ。授業始めるぞ」

すぐさま教師が入ってきて授業が始まった。

結局辞書は隣の席の女子に見せてもらって事なきを得た。

割と仲のよい女子だったので特に気まずい思いをすることもなく和気藹々と授業は終わった。

翌日、俺はこの日も辞書を忘れていた。

次も、その次も、そのまた次も辞書を忘れ続けた。

なぜかと問われれば、たぶんその女子と話したかったんだと思う。

ある日、俺はちよつとしたいたずら心から彼女の辞書の「セックス」の部分にラインマーカーでマークを試してみた。

ただのいたずら心、それだけだった。

でも、次の授業で彼女は辞書を忘れた。

それから彼女は辞書を持ってこなかった。

さすがに必要なに刈られて俺は自分の辞書を持ってきたのだった。

俺が辞書を持ってきた日、その日も彼女は辞書を忘れていた。

今度は俺が彼女に辞書を見せるようになった。

彼女は俺に何も言わず、いつも通りに話してくれていた。
それでも彼女は辞書を忘れていた。

ある時、彼女は昼休みにはいると同時に教室を出ていった。
特に気に留めなかったが、俺はこの時から彼女を目で追っていた
と思う。

昼休み明けの五時間目、国語の授業だったが授業で辞書を使わ
なくなった。

それからもう辞書を使うことはなくなっていた。

そのせいか俺は彼女を常に目で追うようになっていた。

昼休みになるとすぐに教室を出る彼女はすごく忙しく見えた。

帰ってくると決まって俺をちらりとみてため息をつく、なぜかこ
れはいつまでも続いていた。

それから、俺は受験も無事終えて卒業した。

卒業する前日まで彼女は昼休みに教室にいることはなかった。

高校は彼女と違い、それから会うことも少なくなった。

辞書のことなど、忘れていた。

「こりゃまた懐かしいな」

中学を卒業してから10年が経ったある日、俺は引っ越しのため
に荷物の整理をしていた。

住み慣れた実家から、新居へと引っ越すのだ。

その整理の最中、懐かしい中学の時の教科書やらがでてきたのだ
った。

「お、こんなのまであるのか」

見つけたのは、国語辞書だった。

古ぼけた国語辞書を見て、俺はあの頃を思い出した。

パラパラと辞書をめくっていくと、ある場所にラインマーカーが
引かれていることに気がついた。

「マーカー引くほど真面目な生徒じゃなかったんだがなあ？」

ラインマーカーは「セックス」の一文に引かれていた。そして、シャーペンで付け足された文字が残っていた。

『仕返しだバカ！昼休みに図書室で待ってる』

読んだ瞬間、すべてを理解した。

古い記憶が鮮明に思い出されすべてが理解できた。

「そういうこと、か……」

苦笑して、わるいことしたなあ……と思いながら

とりあえず嫁に見せてみた。

「なんで今頃見つけるんだバカ！」

怒鳴られたが、彼女は顔を真っ赤にしながら笑っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6735t/>

突発恋愛短編「国語辞書」

2011年10月9日23時39分発行